

Microsoft® Windows® 2000 ダウングレードモデルを お使いの方へ

このたびは、弊社の CELSIUS R610(以降、本ワークステーション)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本紙では、

- Microsoft® Windows® 2000 ダウングレードモデルをお使いになる上で、知つておいていただきたいこと
- 『梱包物一覧』、『取扱説明書』、および『CELSIUS マニュアル』^(注)の読み替えのお願いを記載しています。

本ワークステーションをお使いになる前に本紙をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

注:『CELSIUS マニュアル』は、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ (<http://www.fmworld.net/biz/>) 内にある HTML 形式のマニュアルです。『CELSIUS マニュアル』をご覧になるためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。Microsoft® Windows® 2000 のセットアップ後、ネットワーク管理者に確認し、LAN の設定を行ってください。

なお、『CELSIUS マニュアル』からハードウェア関連の情報を抜き出して PDF 形式にしたものが『ハードウェアガイド』、またソフトウェア関連の情報を抜き出して PDF 形式にしたものが『ソフトウェアガイド』です。

Microsoft® Windows® 2000 ダウングレードモデルについて

本ワークステーションは、Microsoft® Windows® XP Professional(以降、Windows XP Professional) をダウングレードし、Microsoft® Windows® 2000(以降、Windows 2000)をブレインストールしています。

- ・ 本ワークステーションの添付品は、Windows XP Professional モデルと同様です。
- ・ 『取扱説明書』および『CELSIUS マニュアル』では、Windows 2000 の記載に従つて操作してください。
- ・ Windows 2000 ダウングレードモデルには、Windows XP Professional のリカバリ CD-ROM が添付されています。Windows 2000 のリカバリ CD-ROM は添付されておりませんので、Windows 2000をお使いになる場合は、本紙の「■リカバリ CD-ROM を作成する」をご覧になり、必ず Windows 2000 のリカバリ CD-ROM を作成してください。

Windows 2000 ダウングレードモデルでは、Windows XP Professional へのリカバリ、または Windows 2000 へのリカバリが可能です。リカバリ後はそれぞれの OS の情報をご覧ください。

■ リカバリ CD-ROM を作成する

Windows 2000をお使いになる場合は、次の手順に従つて、セットアップ後すぐに、Windows 2000 のリカバリ CD-ROM を作成してください。

また、作成したリカバリ CD-ROM は判別できるようにして、大切に保管してください。

Windows XPをお使いになる場合は、添付のリカバリ CD-ROM でリカバリを行ってください。

重要

- ▶ リカバリ CD-ROM は、「D:\Backup」のフォルダのデータを使い作成します。
このデータが失われると、リカバリ CD-ROM を作成できません。セットアップ後すぐにリカバリ CD-ROM を作成してください。

● 必要なもの

- ・添付の「リカバリ CD-ROM1」(Windows XP Professional)
- ・1.44MB フォーマット済み 2HD フロッピーディスク 1 枚(購入してください)
- ・CD-R 2 枚(購入してください)
- ・CD を作成できる光ドライブ(DVD-ROM&CD-R/RW ドライブ)
- ・起動可能な CD を作成できるソフトウェア

POINT

- ▶ リカバリ CD-ROM の作成には、CD を作成できる光ドライブと起動可能な CD を作成できるソフトウェアが必要になります。
- ▶ ここでは、DVD-ROM&CD-R/RW ドライブと RecordNow を使用した場合の手順を記載しています。
- ▶ 推奨するディスクやドライブについては、『CELSIUS マニュアル』をご覧ください。

リカバリ CD-ROM 起動ディスクを作成する

POINT

- ▶ 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」は、リカバリ CD-ROM を作成するときのみ必要です。リカバリ CD-ROM を作成後は、保管の必要はありません。

1. 必要に応じて、DVD-ROM&CD-R/RW ドライブをワークステーション本体に取り付けます
(→『CELSIUS マニュアル』、周辺機器のマニュアル)。
2. 「リカバリ CD-ROM1」をセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]^{(注): ¥Fjuty¥mkbfd.exe}
注: お使いの環境に合わせて、CD-ROM のドライブ名を入力してください。
5. 「次へ」をクリックします。
6. 作成するフロッピーディスクが書き込み可能な状態であることを確認し、フロッピーディスクドライブにセットして、「次へ」をクリックします。
リカバリ CD-ROM 起動ディスクの作成が始まります。
しばらくすると「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」が作成されました」と表示されます。

続けて、リカバリ CD-ROM を作成してください。

リカバリ CD-ROM を作成する

1. 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Sonic」→「RecordNow DX」→「RecordNow DX」の順にクリックします。
「Sonic RecordNow DX Wizard」ウィンドウが表示されます。
2. 「Sonic RecordNow DX 戻る」をクリックします。
3. 「ファイル」メニュー→「新規ジョブ」→「データディスク」の順にクリックします。
4. 「編集」メニュー→「ファイルとフォルダの追加」をクリックします。
「ファイルとフォルダの追加」ウィンドウが表示されます。
5. 「ファイルの場所」に「D:¥Backup¥Disk1」フォルダを指定します。
6. 「Disk1」フォルダ内のすべてのファイルとフォルダを選択し、「追加」をクリックします。
「ディスク上のフォルダまたはファイル」に、選択したすべてのファイルとフォルダが表示されます。

7. 「編集」メニュー→「作成オプション」の順にクリックします。
「データジョブオプション」ウィンドウが表示されます。
8. 「ブータブル CD(CD のみ有効)」の「CD のブート元」をチェックし、「ブートフロッピー」が選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。
9. フロッピーディスクドライブに、作成したリカバリ CD-ROM 起動ディスクをセットします。
10. DVD-ROM&CD-R/RW ドライブに用意した CD-R をセットします。
11. 「ファイル」メニュー→「作成」の順にクリックします。
CD-R への書き込みが始まります。
1 枚目の書き込みが終了すると「Sonic RecordNow DX」ウィンドウが表示されます。
12. 「OK」をクリックし、CD-R とリカバリ CD-ROM 起動ディスクを取り出します。
書き込みを終了した CD-R は「リカバリ CD-ROM1」となります。
13. 「ファイル」メニュー→「新規ジョブ」→「データディスク」の順にクリックします。
14. 「編集」→「ファイルとフォルダの追加」をクリックします。
「ファイルとフォルダの追加」ウィンドウが表示されます。
15. 「ファイルの場所」に「D:¥Backup¥Disk2」フォルダを指定します。
16. 「Disk2」フォルダ内のすべてのファイルを選択し、「追加」をクリックします。
「ディスク上のフォルダまたはファイル」に、選択したすべてのファイルが表示されます。
17. DVD-ROM&CD-R/RW ドライブに、用意した CD-R をセットします。
18. 「ファイル」メニュー→「作成」の順にクリックします。
CD-R への書き込みが始まります。
2 枚目の書き込みが終了すると「Sonic RecordNow DX」ウィンドウが表示されます。
19. 「OK」をクリックし、CD-R を取り出します。
書き込みを終了した CD-R は「リカバリ CD-ROM2」になります。
20. RecordNow を終了します。

確認する

リカバリ CD-ROM が正常に作成できているかどうか、次の点を確認してください。問題がある場合は、リカバリ CD-ROM は正常に作成されていません。手順を確認して、再度作成してください。

- ▶ リカバリ CD-ROM にデータが書き込まれていますか。(すべてのデータを確認する必要はありません。)
 - ・「リカバリ CD-ROM1」に「D:¥Backup¥Disk1」フォルダ内のデータが書き込まれていますか。
 - ・「リカバリ CD-ROM2」に「D:¥Backup¥Disk2」フォルダ内のデータが書き込まれていますか。
- ▶ 作成した「リカバリ CD-ROM」を使い、本ワークステーションが起動できますか。
添付の『取扱説明書』の「リカバリ操作」→「リカバリ方法(ご購入時の状態に戻す)」(→P.30)の手順 1~5 をご覧ください。手順 5 の「リカバリ CD-ROM」画面が表示されるところまで操作できれば、起動できるリカバリ CD-ROM が作成されています。その後、【N】キーを押し、リカバリを中断してください。
この確認をする場合は、『取扱説明書』の「リカバリ」(→P.29)、「リカバリ操作」(→P.30)をよくお読みになり、正しく操作してください。

『梱包物一覧』、『取扱説明書』、および『CELSIUS マニュアル』読み替えのお願い

『梱包物一覧』、『取扱説明書』、および『CELSIUS マニュアル』には、Windows 2000ダウングレードモデルの記載がありません。次のように読み替えてください。また追加の情報もありますので、ご確認ください。

■ 添付品について

添付品は Windows XP Professional モデルと同様です。『梱包物一覧』では、Windows XP Professional モデルの記載をご覧ください。なお、本紙『Microsoft® Windows® 2000 ダウングレードモデルをお使いの方へ』は、『梱包物一覧』には記載されておりませんのでご注意ください。

■ 「Windows Update」について

『取扱説明書』にしたがってセットアップを行った後には、「Windows Update」の実行をお勧めします。「Windows Update」は、Windows を常に最新の状態に整えるサポート機能です。

「Windows Update」を実行すると、Windows やソフトウェアなどを最新の状態に更新、修正できます。

また、最新の状態にすることにより、ウイルスが侵入したり、不正アクセスされたりするセキュリティホールをなくすための対策もされます。なお、「Windows Update」で提供されるプログラムについては、弊社がその内容や動作を保証するものではありません。

POINT

- ▶ Windows Update はシステム管理者の指示に従って行ってください。システム管理者は以下の点にご注意ください。
 - ・「重要な更新」については、適用されることをお勧めします。
 - ・「ドライバの更新」は適用しないでください。ただしお客さまが追加されたデバイスについてはお客様の判断で適用してください。
 - ・自動更新機能を使うと、Windows Update を自動的に行う設定をすることができます。設定方法については、Windows のヘルプをご覧ください。出荷時は「コンピュータを常に最新の状態に保つ」が ON になっています。必要に応じて設定を変更してください。

Windows Update を実行する

1. 「スタート」ボタン→「Windows Update」の順にクリックします。

「Windows Update」の画面が表示されます。

2. 「更新をスキャンする」をクリックします。

3. 「更新の確認とインストール」をクリックします。

更新情報のリストが表示されます。

POINT

- ▶ インターネットへ情報を送信するにあたっての注意事項が表示されたら、「はい」をクリックします。

4. 内容を確認し、更新したくない項目がある場合はその項目にある「削除」をクリックします。

通常は、「重要な更新」についてはすべての項目を更新することをお勧めします。

5. 「今すぐインストールする」をクリックします。

修正プログラムがインストールされます。

更新が完了します。

POINT

- ▶ ほかの修正プログラムとは別にインストールが必要な修正プログラムがあると表示されたら、画面に従って進みます。インストール終了後は再度手順 1 から「Windows Update」を実行します。
修正プログラムの使用許諾契約が表示されたら、内容を確認し、「同意します」をクリックします。
Windows の再起動を要求する画面が表示されたら、「OK」をクリックして再起動します。

■ Windows 2000 Service Pack4 へ読み替え

本ワークステーションには、Service Pack4 が適用されています。

「Service Pack3」と記載された箇所は、「Service Pack4」と読み替えてください。

また、『CELSIUS マニュアル』の「ソフトウェア」—「ソフトウェア一覧」—「□SP3 インストール方法」の手順 2 では、「名前」には「C:\support\sp\w2ksp3.exe」ではなく、次のように入力してください。

C:\support\sp\w2ksp4.exe

■ DirectX9.0a へ読み替え

本ワークステーションには、DirectX9.0a がプレインストールされております。

「DirectX8.1b」と記載された箇所は、「DirectX9.0a」と読み替えてください。

■ Sonic RecordNow について

「VERITAS RecordNow DX 4.11」が「Sonic RecordNow DX」に変更になっています。

■ お問い合わせ先の変更等について

- 『取扱説明書』の「お問い合わせ先」(→P.32)に追加してください。

□リカバリ CD-ROM の用意

本ワークステーションの修理を依頼する場合は、必ずリカバリ CD-ROM を添付してください。

- 『取扱説明書』の「お問い合わせ先」—「連絡先」(→P.32)は次のように読み替えてください。

こんなときには	こちらへ
・添付品の不備	ご購入元にご相談ください。
・故障かなと思われたとき	富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ (http://www.fmworld.net/biz/) 内の『CELSIUS マニュアル』に記載されている「トラブルシューティング」をご覧ください。 注『CELSIUS マニュアル』は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「CELSIUS マニュアル」からご覧いただけます。 それでも解決できない場合は、ご購入元にご相談いただきか、または「富士通ハードウェア修理相談センター」 ^{注1} にお問い合わせください。
・CELSIUS シリーズの技術的なご質問・ご相談 ・本ワークステーションにインストールされているソフトウェアのお問い合わせ	・富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ (http://www.fmworld.net/biz/) 内の『CELSIUS マニュアル』をご覧ください。 ・ソフトウェアのお問い合わせにつきましては、『CELSIUS マニュアル』の「トラブルシューティング」—「お問い合わせ先」をご覧ください。 それでも不明な点がございましたら、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」 ^{注2} にお問い合わせください。

注 1:「富士通ハードウェア修理相談センター」

・フリーダイヤル:0120-422-297

・受付時間:9:00～17:00(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

注 2:「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」

・フリーダイヤル:0120-950-222

・受付時間:9:00～17:00(土曜・日曜・祝日およびシステムメンテナンス日を除く)

・お問い合わせの際には、おかげ間違いのないようご注意ください。

・両窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。

- 『取扱説明書』および『CELSIUS マニュアル』で、お問い合わせ先を「弊社担当営業員または担当保守員」とご案内している場合には、「弊社担当営業員または担当保守員」の記載を、それぞれ次のように読み替えてください。
 - ・『CELSIUS マニュアル』の「トラブルシューティング」—「それでも解決できないときは」
『取扱説明書』の「本書をお読みいただく前に」—「本書の表記」(→P.9)
→「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
 - ・『取扱説明書』の「必ずお読みください」—「梱包物の確認」
→ご購入元
 - ・『取扱説明書』の「保守修理サービスのご案内」(→P.3)
『取扱説明書』の「必ずお読みください」—「接続について」
→「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元
 - ・上記以外
→「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元

■ 本ワークステーションの廃却方法の変更

本ワークステーションを廃却する場合は、『取扱説明書』の「装置の廃却について」(→P.10)の記載ではなく、次のとおりに処理してください。

リサイクルについて

■ 本製品の廃棄について

本製品(付属品を含む)を廃棄する場合は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」の規制を受けます。

● 法人・企業のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物諸分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。弊社では、「富士通リサイクル受付センター」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。

詳しくはホームページ(<http://eco.fujitsu.com/jp/>)の「富士通リサイクルシステム」をご覧ください。

● 個人のお客様へ

個人のお客様は、上記「富士通リサイクル受付センター」をご利用いただけません。本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」までお申し込みください。
受付窓口の電話番号、お申し込み方法などについては AzbyClub ホームページ(<http://azby.fmworld.net/recycle/>)をご覧ください。

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2004

